

2012年度 役員紹介

市民の司法アクセスの拡充と会員支援の強化 — 2012 年度会長に就任して—

東京弁護士会会長 齋藤 義房

本年度の東弁会長、日弁連副会長に就任いたしました。一年間よろしくお願いいたします。

東日本大震災および原発事故により被災された方々の救済は、著しく立ち遅れています。

行政、立法のみならず、司法の責任も重大です。東弁は、昨年度開始した被災高校生特別義援金を継続するとともに、「人間の復興こそ第一」との観点に立脚して、一弁・二弁とも協力し、これまでの活動をさらに発展させる決意です。

いま不況と格差の中で閉塞感が広がっています。このようなときこそ、憲法の理念を体現し、社会的弱者に対しても公正・公平に権利救済する司法の機能が重要です。

現実には法律問題を抱えている市民・企業は数多く存在していますが、弁護士を増やすだけでは、市民の司法アクセスを現実化させることはできません。市民は、「やすい、はやい、実効性のある」司法制度を求めています。そして、多くの市民にとって、弁護士は依然として「敷居が高い」存在です。加えて、自ら抱えている問題が弁護士に相談すべき問題と考えていない市民・企業が多いという調査結果が出ています。

これから弁護士会がなすべき改革課題が見えてきたと思います。

第1に、利用しやすく適正・迅速な司法への基盤整備を求める運動を一層強化することです。具体的には、法律扶助制度のさらなる改革、権利保護保険の一層の拡充、労働審判の手続を参考にした民事審判手続の導入、判決や審判の執行を確保する財産開示制度などの導入、裁判官・検事の増員、裁判所支部・検察庁支部の人的・物的拡充などです。

第2に、弁護士が、従来型の法廷弁護士像から脱却して、社会の様々な分野に進出していくことです。弁護士会は、市民が訪れてくるのを「待つ」という姿勢に甘んずることなく、積極的に「市民の中に入っていく」方針を確立し、地方自治体とも連携して弁護士が活動する場を開拓すべきです。あわせて、弁護士の業務および弁護士会の様々な取り組みに関する広報を、さらに一層重視する必要があります。

第3に、「裁判沙汰」という言葉に象徴される司法を敬遠する市民の意識を変える法教育の重視です。市民の権利意識を高める法教育は、民主主義の基盤づくりでもあります。この取り組みは、弁護士と市民を結びつける太いパイプになり、中・長期的には、弁護士業務の基盤を拡充することにつながります。

弁護士が基本的人権の擁護と社会正義の実現という使命を果たすには、高度な自治権を堅持することが不可欠です。弁護士自治は、プロフェッションとしての弁護士のアイデンティティを基礎とし、会員間の連帯を強めなければ維持できません。その意味で、会員への支援は弁護士会の基本的責務の一つと位置付けなければなりません。

なかでも若手会員に対する支援は重要です。法科大学院教育が未成熟であることや修習期間が短縮されたこともあり、OJTを含む若手会員支援を抜本的に強化する必要があります。

東弁が実施している「チューター」制度を充実させるとともに、登録1年目の会員全員を対象として、関心あるテーマを柱とする「コース別クラス研修」の実現を推進したいと考えています。

皆様のご支援を、重ねてお願い申し上げます。

2012年度の役員に
誌上インタビューを行いました。
1年間よろしくお願いいたします。

質
問

1. 一番関心のあることは何ですか？
2. 一番大切にしていることは何ですか？
3. 長所・短所、趣味は何ですか？
4. 座右の銘は何ですか？

若者が輝く社会を

会長 斎藤 義房 (26 期)



1. 東日本大震災・原発事故の被災者救済と若手会員への具体的支援、そして全面的国選付添人制度の実現です。

わが国の将来について言えば、少子化が続くなかで、50年後の日本の人口は今より4000万人減少すると試算されています。後進の世代に益々大きな負担がかかります。若者が夢を持てる社会への環境整備が私たちの責務でしょう。

2. 信義と健康。
3. 長所は、状況を見きわめでの決断力。
短所は、頑固。
趣味は、温泉と文化遺産めぐりです。
4. ユング心理学者である河合隼雄氏が講演の中で述べた「良いことは悪いことから起こる」というフレーズがいつも頭の中にあります。

夢を持つ

副会長 古川 史高 (35 期)



1. 若い人が夢を持って法曹を志望することができ、が大切。弁護士会の山積する課題は、一年限りで解決できることは、ほとんどありません。次世代の若い人が、安心して引き継ぐことのできる弁護士会を作ってゆきたいと思います。
2. 人とのつながりと明るく生きること。今日あるのもまわりの人のおかげです。人とのつながりを大切にしたいと思います。また、「笑う門には福来たる」といいます。嫌なことも笑って

- 吹き飛ばし、明るく元気に生きたいと思います。
3. (長所) 物事にこだわらない、くよくよしない、楽観的。
(短所) 深く考えない、短絡的、思慮深さがない。そして短気。
4. 「驚馬千里を行く(驚馬十駕)」
才能のない私でも、コツコツ努力すれば、いつか才能のある人と同じ所に到達できる、と思いつつ、努力を怠っている自分への戒めです。頑張ろう！

よろしくお願いします

副会長 中城 重光 (38 期)



1. 日常業務として行っている当会の様々な活動をさらに効率よく迅速に推進していくことです。
社会を取り巻く問題が山積している中であっても、しっかりと地道に取り組まなければならない諸課題があります。これらの課題を解決しながら、新しい分野も進めていく必要があります。そのためには、効率性、迅速性が必要だと思います。
2. 何事も、正面から受け止め、一步でも前進さ

- せることだと思っています。
3. 長所短所は、他者が評価するものだと思います。趣味は、旅行です。異国を気ままに旅することに憧れています。今年の1月に南極に行きました。一言で言い尽くせませんが、大自然の中に佇んだだけで新たな何かを体得した感がありました。
4. 「可能性の追究」が好きです。諦めないで突き進みましょう。1年間、よろしくお願いします。

怒らない1年にしたいです

副会長 大西 英敏 (38期)



1. 現在の関心事は、東日本大震災への対応と若手を含む弁護士の業務基盤の強化です。弁護士会の「レインメーカー」になりたいものです。
2. 一番大切にしているものは体力です。体力は全ての源であり、これに会員の皆様からの英知で難局を乗り越えたいと思います。
3. 長所は粘り強いことと、気持ちのリセットが早いことで、短所はマイペースで周りにあまり気を使わないことです。趣味は水泳となかなかうまくならないゴルフで、映画も好きです。
4. 好きな言葉は「義を見てせざるは勇無きなり」ですが、今年は、「人に怒らず、また人の悪口は言わず」を座右の銘にしたいと思います。

共感される弁護士会を目指して

副会長 白井 裕子 (38期)



1. (1) 会内的には、弁護士人口増の中で、弁護士としての志を生かせるような活力と求心力のある弁護士会を創るためには、どのような会内システムが必要か。(2) 会外的には、弁護士(会)の存在意義を市民に理解してもらうためには、今、弁護士会は何をすべきなのか。
2. 感謝の心を忘れずに、ひたむきに誠実に一生懸命生きること。家族(犬2匹含む)。
3. 長所…落ち込んでも回復は多少早いかな？
短所…自分に甘く、他人に厳しいこと。
趣味…サッカー観戦(海外観戦含む)、ゴルフ、ミュージカル鑑賞、美術館巡り。
4. 生き方の座右の銘は、「過去を顧みるなかれ、現在を頼め、さらに雄々しく未来を頼め」。
行動規範の座右の銘は、「しなやかに、したたかに」「転んでもタダでは起きない」(笑)。

魅力ある弁護士会を

副会長 石原 修 (39期)



1. 世代を超えて魅力ある弁護士会とすることで。特に、大きな割合を占める若い世代の会員からも共感され、会が担っている役割や、希薄となりつつある縦と横の世代間の繋がりやの尊さを実感してもらえるような弁護士会にしたいです。そして、魅力あふれる弁護士会の姿を会員と市民に発信していきたいと思います。
2. 多くの方々と信頼関係を築きながら進めたいと思います。
3. 長所は、様々な意見をお聞きすること、短所は、夏休みの宿題を最後の日に泣きながらやるようなところ。趣味は音楽です。
4. 座右の銘ではないかもしれませんが、幼稚園の頃から教会学校で歌っていた「主われを愛す、主は強ければ、われ弱くとも恐れはあらじ」です。映画「ボディガード」で先日亡くなったホイットニー・ヒューストンが湖畔で口ずさんでいる曲です。

静かに健やかに

副会長 山田 宣郷 (41期)



1. 自助(self-help)の精神が無いところに、市民に信頼される弁護士会も会員から頼りにされる弁護士会も存立出来ないのではないかという命題。
2. 人間としての温かさです。義理(compliance)と人情(humanity)の両立を心がけています。
3. 生真面目ですがアバウトな点です。最近、鈍感力に優れているという評価も得ています。そこが長所であり短所でもあります。
4. 座右の銘と言うほどではないのですが、小学生のころどういう経緯で覚えたのか忘れたのですが、明治天皇の「いかならんときにあるとも人はみな、まことの道を歩めと教えよ」という歌を今も覚えています。

自らを律して

監事 仲 隆 (44期)



1. 監事の立場として一番関心のあることは、弁護士会の財政を規律していくためには個々の弁護士自身が節約をする心がけを持つことが大事だという視点です。弁護士事務所の経営者であれば細かな事務所経費まで無駄を省くよう努力すると思います。非常事態であると認識すれば電気を節約する気持ちも起こります。弁護士会の財政は厳しい状況にありますから、弁護士のみなさん全員に危機意識を強く持って頂けるよう考えていきたいです。
2. 何よりも健康です。50歳を過ぎるとあちこち傷んできます。今年になってから、毎朝30分

エアロバイクをこぎ、事務所や地下鉄の階段を徒歩で上り、毎日ウコンだのショウガだの青汁だの養命酒だのを飲み、ごく最近では納豆とトマトを欠かさず食べるようにしています。90歳を過ぎても現役で弁護士業務ができることが人生最大の目標です。

3. 協調性に富みます。特に短所はありませんが、あまり根性がないです。できるだけのんびり働いて休日を作り、郊外散歩をすることが唯一の趣味です。
4. のんびりいこうよ俺たちは。

1年間お世話になります

監事 佐々木 広行 (48期)



1. 将来的に会費を値下げすることはできないか、ということです。監事に立候補することを決めてからの私の最大の関心事です。
2. 素直に生きる、ということでしょうか。
3. 短所はたくさんあると思います。人間なのだから短所があっても仕方がないかなと考え、諦めています。このように考えてしまうことも短所なのでしょう。ただ、相手の欠点についてもまた人間だから仕方がないかなと考えて、受容できるところは長所かもしれません。

趣味と言っではいけないのかもしれませんが、憩いの時間はお酒と葉巻が横にあるときです。これが止められないのもまた欠点なのでしょう。

4. 座右の銘というほどのものではありませんが、中学生のときに野球部の監督に言われた「平凡は非凡に通ず」という言葉には勇気付けられました。平凡な人間でも長年に亘って精進すれば一流になれるかもしれないよ、と繰り返し言われた青春でした。今の子供たちに掛けてあげたい言葉です。

■ 2012年度 東弁常議員 (80人)

中村 雅男	山中 尚邦	上妻英一郎	伊藤 明彦	村山 哲也	岡田 功	高梨 滋雄	岡本 明子
矢花 公平	吉野 高	中根 秀樹	増本 善文	軽部龍太郎	須長駿太郎	石田 廣行	細永 貴子
西尾 則雄	鈴木 清明	味岡 康子	福崎 聖子	坂本 雅弥	小石川 哲	金川 征司	中村 謙太
藤原 浩	桑原 育朗	岡田 知子	鷹見 雅和	内野 真一	石田 亮	松尾 明弘	鈴木 裕子
桑原 周成	志賀 剛一	町田 行功	大川 康德	本多 広高	山勝 幹之	尾谷 恒治	樋口 裕子
篠原 煜夫	石黒 美幸	犀川 治	古在 克子	福嶋 歩	今井 勇太	吉田 律恵	今井 智一
内田 成宣	戸井川岩夫	川畑 大輔	中村 英示	長田 誠司	辻角 智之	伊藤 元	村瀬 敦子
白井 剣	遠藤 徹	鶴 由貴	石井 健	楠部 亮太	平泉 亘	田中純一郎	伊藤美沙都
下平 坦	大木 卓	持田 秀樹	村主 知久	上原 公太	額田 志保	伊藤 博昭	田村 哲雄
武内 更一	本橋 一樹	市川 和明	村中 貴之	坂田 信太	五十嵐佳子	渡邊 昌裕	佐藤 新

■ 2012年度 日弁連代議員 (70人)

中村 雅男	武内 更一	戸井川岩夫	川畑 大輔	古在 克子	楠部 亮太	額田 志保	中村 謙太
矢花 公平	大西 英敏	遠藤 徹	鶴 由貴	中村 英示	上原 公太	五十嵐佳子	鈴木 裕子
西尾 則雄	白井 裕子	大木 卓	持田 秀樹	石井 健	坂田 信太	星野 俊之	樋口 裕子
桑原 周成	山中 尚邦	本橋 一樹	市川 和明	村主 知久	岡田 功	石田 廣行	今井 智一
篠原 煜夫	吉野 高	上妻英一郎	伊藤 明彦	村山 哲也	須長駿太郎	金川 征司	村瀬 敦子
内田 成宣	鈴木 清明	中根 秀樹	増本 善文	軽部龍太郎	石田 亮	松尾 明弘	伊藤美沙都
白井 剣	桑原 育朗	味岡 康子	福崎 聖子	坂本 雅弥	今井 勇太	吉田 律恵	田村 哲雄
下平 坦	志賀 剛一	岡田 知子	鷹見 雅和	本多 広高	辻角 智之	伊藤 元	
中城 重光	石黒 美幸	犀川 治	大川 康德	福嶋 歩	平泉 亘	田中純一郎	